



第 203 号
令和5年12月15日
発行 福江中学校



いじめ・差別の根源にあるもの

「人の不幸が幸せではなく、
みんなが幸せ」が幸せな子へ」

十二月九日(日)、豊橋商工会議所で行われた臨床心理士の山口力氏の講演会に行きました。講演の中で印象的だったのは、次のような話です。

四人の子供が部屋で遊んでいるときに、お母さんがおやつを持ってきてくれました。おやつは九つです。子供は四人です。

【どのように分けますか】

きつとすぐに思いつくのは、一人二つずつ食べて、最後の一つは、じゃんけんで勝った人が食べるという方法です。

さあ、あなたはじゃんけんで勝ちました。
【じゃんけんで勝って食べるおやつはどんな味がしますか？】

(あゝおいしい。じゃんけんに勝ってうれしいな。)

(おいしい…でも、なんだか、ちよつとほろ苦いな…。僕だけ食べちゃって…。みんなも食べたかったよな…。) という後悔の味。

でも、中にはこんな子もいます。(みんなも欲しそうな顔をしてるな。えへへ、勝ったのは俺ですよ。いいだろ) という優越感に浸った味。これは、「人の不幸が幸せ」な子です。みんなが悲しそうな顔をしているのが快感なのです。

優越感の反対には劣等感があります。人と比べて優越感を持ちたいと強く願っている子には、実は、強い劣等感があります。

「大人の願う理想の子供」になれていない自分に対しての劣等感です。自分が持っている劣等感から逃れるために、誰かを見下して優越感に浸ることで、心の奥底にある自分の劣等感が一時ではありますが、忘れられるのです。

山口氏は、いじめの子の心理を分かりやすく説明してくださいました。講演の後半には、劣等感を育てない子育ての仕方についてもお話してくれました。ポイントは、やはり大人の子供たちへの「愛情」でした。いくつか言葉を紹介しましょう。

- ① 食べ物がなくおなかがすく。愛情がないと心がすく。小さなこと、当たり前前ことを褒めるとそれが心の栄養になる。「褒めると調子に乗る」というのは褒められていない人。時々しか褒めないから調子に乗る。
- ② 結果の自信は偽の自信。結果ばかり褒めていると、プライドが高くなり、(成功しなければ、大人に愛されない)と失敗に対する不安・恐怖心が高くなる。
- ③ プロセスの自信は、ぬくもりがあり、心が育つ。かけっこで順位が思い通りにならなくても、チャレンジしたこと、がんばったこと、最後まで走り切ったことなどプロセスを褒めると心が育つ。
- ④ 大人はいつもスマホをいじっている。私はスマホになりたい(子供の心)
- ⑤ いつも、親身(しんみ)を大切に。

最後の、「親身」を大切に…というのは、我々教員も肝に銘じておくべき心持であります。その子の親になった気持ちで子供たちと接していきたいと思えます。

なお、学校にもスクールカウンセラーさんがいます。「心」のプロです。ぜひ、いろいろ相談してみてください。

ところで、おやつに分け方ですが、最後の一つを四人で均等に分けるという方法もありますね。みんなが幸せな食べ方です。きつとほっこり温かい味がすることでしょう。

(校長 矢野 正明)



田原市の未来を考える…(3年生)

3年生は、視点を広げ、田原市の未来について学習しています。市役所の方に来ていただき、行政として考えていることを聞きながら、それぞれのプランについてまとめています。調べたことは、市議会議員さんや県議会議員さん・国会議員さんに来校していただき伝えていこうと考えています。



生き方講演会(2年生) ~古田メロン・石井芳典さん~

2年生は、福江中学校の先輩、石井芳典さんに来ていただき、これまでの人生についてお話をいただきました。上京した時のこと、渥美に帰ってきてからのこと。飾らぬ話しぶりで、多くの生徒の心に勇気を与えていただきました。

・「まず、やってみる」と言うことが大切なんだなと思いました。私は変化を好まない人間です。何時でも同じ人と仲良くして、何時でも同じものを買っています。でも、自分に合わなくてもそれも一つの経験として自分の糧になるのではないかと学びました。

・「コンプレックスがあるのは自分だけではない」というのを聞いたので、少し心が楽になりました。心が折れそうなきも、今日話していただいたことを参考に頑張ろうと思いました。

・自分はやりたいことや長所はないと思っていました。けれど、生き方講演会で「やりたいことや長所がないのも長所だ」と言ってくれて、毎日が楽しく前向きに過ごすことができました。これからのいろいろな経験を積み重ね、豊かな人生が送れるようにしたいです。(講演会後の生徒の感想より)



福江中校区について学ぼう!(1年生)

1年生は、総合的な学習で、福江中校区について調べています。多くの地域の方にゲストティーチャーになっていただき、福江中校区のことについて調べました。発表会では、講師の方々にも来ていただき、温かい激励の言葉もいただきました。今後は、なんと、長崎県の五島列島にある福江中学校とも交流をしていく予定です。



【編集後記】

福江中学校では、「ふるさと学習」に力を入れています。地域に出向いたり、地域の大人に講師として来ていただいたりしてたくさんのことを学んでいます。いつかは、田原から出ていくこともあるかもしれませんが、そんなときでも、「田原は、とっても素敵なおとこなんだよ」と自信をもって言えるような大人に成長してくれるといいなと思っています。福江中校区に住んでいる大人はみんな先生です。これからも子供たちをよろしくをお願いします。